

今月の推薦句

山田真砂年選

冬の蝶野に断層と言ふ軋み

沼田布美

海荒れの舟屋の魚籠に青蜜柑

上田信隆

コミュニティバス折り返しました冬ざれに

滝代文平

代り映えなき日好日小春かな

牧園賀

枯葉踏む音を光に溶かしつつ

大坪正美

日蓮に法難木守柿真つ赤

小見戸実

冬たんぽぽ体育見学する少女

本多遊子

冬木立青きテープは伐らるる木

西中悦子

風の音の中に立ちて大根引く

國益悦子

熟柿吸ふ口の淫らを肯へり

中村かりん

日めくりを剥ぐたび傾ぐ十二月

司まや

桑括るをんなの歴史見ゆる町

植松深雪

忙日の冬陽に凝らす針の穴

池田美和

天竜川の霧に育ちて霧に老ゆ

丸山時子

小春日の全員転ける繩電車

矢代保子

蓮枯れて水の日向となりにけり

岡本秀子

七五三芭蕉の句碑を誰も見ず

飛田小馬々

太々と葱は甘さを増しにけり

大和田美和子

目貼しつかりしんしんと会津の夜

瀧本萌

八海山や里の祠の冬構へ

高田峰

アイライン太めマスクの人となる

中村かりん

孫が問ふ形の不思議いてふの娘

青木陽子

コロナ去れ師走の暦強く剥ぐ

堀潤子

綿虫とビル見上げるや浜離宮

鎌倉秋廣

内海山鹿